

平成 27 年度 第 3 回夕張市地域公共交通協議会 議事概要

日 時：平成 2 8 年 3 月 3 0 日（水）13:30～14:40

場 所：夕張市役所 4 階 会議室

資 料：別紙のとおり

1 開 会

2 挨拶

会長より挨拶

3 報告事項

(1) 清水沢駅の無人化に対する対応について（資料 1）

- ・事務局より資料 1 の説明
- ・内容に関する質問等なし

(2) デマンド交通実証実験結果について（資料 2 1～18 ページ）

- ・事務局より資料 2 の 1 ページから 1 8 ページの説明
- ・内容に関する質問等なし

4 協議事項

(1) デマンド交通実証実験の検証（案）について（資料 2 19～20 ページ）

- ・事務局より資料 2 の 1 9 ページから 2 0 ページの説明
- ・委員より出掛ける計画が事前にあれば予約できるが、急な用事の際は予約ができないので当日の予約を受付けられるようにしたほうが良い。また、南部は端から端までとなると広いので、歩いている人が手を挙げたら乗れるような方法があれば利用者が増えるのではないかとの意見。

(2) 平成 2 8 年度事業計画（案）について（資料 3）

- ・事務局より資料 3 の説明
- ・内容に関する質問等なし

(3) 平成 2 8 年度収支予算（案）について（資料 4）

- ・事務局より資料 4 の説明
- ・内容に関する質問等なし

5 その他

(1) J R列車ダイヤ見直し説明会の結果について（J R北海道発言）

- ・ J R北海道より資料の説明。
- ・ 委員より18時台の列車が減便されたことで高校生に部活動ができないという影響があったとの意見と栗山町から通っている高校生が追分駅で岩見沢行きに乗り換えて帰宅しているので配慮をお願いするとの要望があった。
- ・ 会長から委員である夕張鉄道に18時台にはバスがあるかとの質問に中学校の部活に合わせた便ではあるが、18時台に真谷地経由登川行きと清陵町経由オソウシ行きがあるとの説明があった。
- ・ 委員より今後、夕張支線はどうなるのかという質問に対し、J R北海道より今後について社内で決まったものはないが、列車を走り続けようとすると橋の架け替えなど抜本的改修が必要であり、全てをJ Rが負担することは困難である。関係者との話し合いをしていきたいとの回答があった。

(2) 夕鉄バス4月1日ダイヤ改正について

- ・ 夕張鉄道より生徒数の減少のため下校便の増便廃止、土曜日を日曜・祝日ダイヤとする改正内容について説明。
- ・ 委員より高校への入学が富野地区から無かったが、通学する方法がないことが原因の一つである。今後、高校を選択するうえで通学手段を確保しておく必要があるのではないかとの意見。
- ・ 夕張鉄道より朝に富野の二岐橋を出て中学校に行くバスを運行しており、これには高校生も乗れるとの回答があった。
- ・ 会長より10月、4月と続けてダイヤ改正されているが、どのような理由によるものかとの質問に対し、夕張鉄道から利用者の減少のため補助があっても赤字が拡大しており、減便しなければ路線自体の維持が難しい状況であることと運転手の退職も予定されており新たな確保も難しいため、今秋にも改正しなければならないと考えているとの回答があった。

6 閉会

以上